



永田橋架け替え

下田 孝雄
議員

永田橋交差点の構造は

安全な整備が図られるよう要望する

- 問 平成19年度施政方針に
関連して以下の質問をする。
- ① 永田橋の架け替えに伴い、交差点の構造について東京都に働きかけると共に、多摩川右岸の整備についても国土交通省に強力に働きかけるべきでは。
 - ② 地球温暖化対策として、クリーンエネルギーの積極的活用を推進すべきでは。
 - ③ 障がい者・児のニーズを的確に把握し、きめ細かいサービスの提供をすべきでは。
 - ④ 公的保証人制度の創設

をすべきでは。
⑤ 学校関連施設の耐震化
工事を前倒しすべきでは。

市長

- ① 安全な整備が図られるよう東京都に要望する。また、多摩川右岸整備も多摩川整備促進協議会を通じ、国土交通省へ要望する。
- ② 「秋川溪谷瀬音の湯」で使用する木質バイオマスも地球温暖化対策に寄与するエネルギーのひとつであり、クリーンエネルギーの有効活用は率先して導入を考えている。
- ③ 当市では福祉ニーズの把握に努めてきた。今後はきめ細かなサービスが計画的に提供できるよう地域、事業者及び関係機関との連携に努めていく。
- ④ 情報収集し、広範囲な他制度も含め検討していく。
- ⑤ 耐震化への取組みは喫緊の課題と認識しており、引き続き計画的に取り組んでいく。

農業振興の単独助成制度の検討を

単独助成制度は考えていない

澤井 敏和
議員



ハウス栽培施設等が並ぶ農地

問 安心安全まちづくりに
ついて以下の点を伺う。

- ① 平成19年度引田駅周辺事業費の中で業務委託費が計上されているが、委託の内容は？
- ② 都市計画道路秋3・3・4号線、秋3・4・5号線、秋3・5・2号線の延伸の整備計画は？
- ③ 生活道路（狭隘道路）

の整備について検討すると
の答弁があったが、その後の
の取り組み、また検討を行
ったのか？

- ④ ハウス栽培施設等については、東京都の関連で助成が行われている。その施設の改良・改修の時期になつてきているが、農業振興計画の中で、新たに市単独助成を検討できないか？
- 市長
- ① 事業について、地権者の方にご理解をいただくための講演会や協議会の設立などを考えている。

② 3路線については、市内の都市計画道路の進捗状況を見据えながら、東京都に対し整備計画の位置づけを要望していきたい。

- ③ 道路整備選定委員会を設置し、整備路線の決定を行うよう指示をした。
- ④ 市としては、単独助成制度は考えていない。しかしながら、東京都の補助事業や補助制度を活用するなど、施設の改良・改修を検討したいと考えている。



山根 トミ江
議員

るのバスを増やして改善を

今のところ現状のまましていく

問 平成12年10月に「るのバス」の運行が開始されてから6年5カ月が経過したが、いまだに1台で運行している。バスの台数を増やし利用しやすく改善するよう求め、以下質問する。

① 折立地域も今後、バスの運行コースに入れるべきと思うがどうか。

② バスの台数を2台増やし、市内全域のコースを3コースにし、1回りの時間短縮や逆回り、土・日の運行、バスが走っていない地域への運行などの改善をすべきと思うがどうか。

③ 乗客の動向について。



るのバス

総務部長

① 運行コースや既存の草花コースの利用状況など十分調査を行ったうえで結論を出す必要があると考える。

市長

② もう少し利用者が増え、運営がうまくいけば一番良いが、バスの台数を増やすことにより財政的な負担が増大し、他の市民要望に影響を受けることになるので、今のところは現状のまましていく。

総務部長

③ 利用者については、平成12年度が6336人、17年度が3万1948人、18年度は2月末までで3万1561人と昨年を上回る勢いとなっている。

他に、五日市地域の交通不便対策について質問した。

残菜ゼロの取り組みを

心に響く教育活動を創り出す

清水 晃
議員

問 学校給食について以下の質問をする。

① 給食費未納の現状と今後の対策について。

② 残菜は、平成17年度の率で何%か。また、18年12月までで何%か。

③ 「残菜ゼロ」の取り組みとして、道徳の時間とその他の活動とを関連付けて取り組むことにより、児童・生徒の心に響く道徳教育を

創造できないか。

学校教育部長

① 平成17年度末の滞納世帯は310世帯であった。また、18年3月1日現在では115世帯になった。今後も引き続き、きめ細かに訪問徴収や督促等を実施し、積極的に徴収を行っていく。

② 平成17年度の残菜率は19.1%となっている。また、18年12月末では、月平均約17.25%で、前年同月末と比較すると2.65ポイント減少している。

③ 残菜の取り組みとして、市内の全小中学校では、それぞれに創意工夫を凝らして実施している。今後は食育推進全体計画を作成し、その中で、道徳の授業との関連で、指導のあり方を検討し、児童・生徒の心に響く教育活動を創り出すことに努める。

他に、秋川溪谷瀬音の湯オープンに伴うバス運行の再編成、学校の耐震補強、散策路整備、新春ロードレース大会の実施等について質問した。



学校給食センター

浦野 眞司
議員

公立阿伎留医療センターへのバス乗り入れは 平成19年9月になる



公立阿伎留医療センター

問 公立阿伎留医療センターへのバス乗り入れについては、過去の一般質問で強く要望してきたところであり、平成19年度から乗り入れが可能になったとのことで大変喜んでい。現在、問題点もあるとの話を聞いているので、以下の質問をする。

① バス乗り入れに関する問題点はすべてクリアできているか。
② 具体的にバスの乗り入れはいつ頃になるのか。
総務部長

① バスが乗り入れられるための条件としては、敷地内の道路の幅とバスの止まるスペースなどが整っていることが必要であり、現在、来客者用駐車場の整備とあわせて工事を進めている。また、来客者の交通導線のための警視庁協議が必要であり、すでに警視庁による現地調査も行われ、車の出入りについては、要望に沿える方向で協議が進んでいる。
② 公立阿伎留医療センターへのバスの乗り入れは、平成19年9月のダイヤ改正の時期になる。

他に、草花地区周辺の都道の進捗状況及び今後の見通しについて質問した。

奥秋 利郎
議員

財政破綻の真実を問う

一般行政経費が圧迫されないよう対応している



秋川溪谷瀬音の湯・秋川に架かる吊り橋

17年度決算ではどうなるのか伺う。

企画財政部長

当市での市債の平成17年度末現在高は、一般会計が約236億8千万円、下水道事業特別会計が約273億円、介護保険特別会計が約1億5千万円、合計約511億3千万円となっている。また、市債とは性質上異なるが、債務負担行為の残高については、土地開発公社が約75億6千万円、事務機器等のリース契約が7億8千万円、一部事務組合の地方債残高の内、当市の負担見込額は、秋川衛生組合が約7千万円、西秋川衛生組合が約5億2千万円、秋川流域斎場組合が約3億5千万円、阿伎留病院組合が約80億6千万円となっている。いずれにしても、市債等の管理は、一般行政経費が圧迫されることがないように、対応しなければならぬと考えている。

問 「秋川溪谷瀬音の湯」の事務監査請求が出され、趣旨説明のチラシには、市の借金の合計が1千27億円とされ、その後の度重なるテレビ放映でも同様の内容で、あたかも財政破綻の夕張市の二の舞と言われ、多くの市民に不安を与えている。そこで真実を問う。平

成16年度決算における夕張市の市民1人当りの地方債残高は百万6995円であり、当市の市民1人当りの地方債残高は29万1207円である。財政力指数については0.79であり、35の類似団体中9番目であると聞く。どこを取って財政破綻といえるのか理解できない。

御手洗 武
議員

温浴施設のテレビ放送への対応は 公正を欠く報道に抗議を行った

問 温浴施設とテレビ放送について
① テレビの取材に対し、市の対応は万全だったか。また、放送の内容をどのように考えるか伺う。
② 温浴施設の目的は地域の活性化と市全体の社会・経済の発展につながるかと述べているが、具体的な内容はどのようなものか。



秋川渓谷瀬音の湯・外湯

③ 放送の内容から市民は不安を抱いたと思うが、今後の具体的な経営面と市民に利用してもらうような方法をどのように考えているのか伺う。
企画財政部長
① 三つのテレビ局の4番組については、説明責任の観点から取材に応じた。放送の内容は大幅な編集がなされており、一方的な発言や公正を欠く報道に対して抗議を行った。
② 新たな雇用の創出、物品や食材等の消費に伴う経済活動、直売所での農畜産物や観光土産などの販売による効果が考えられる。
③ 市の内外を問わずテレビをご覧になった方から様々な意見が寄せられたため、改めて説明する必要性があると判断し、2月1日の広報に掲載した。また、市民へのサービスは、その重要性を認識している。今後、会社として対応していくものと考えている。

問 文部科学省と厚生労働省の放課後対策事業の連携で、安全な居場所づくりを進めようと「放課後子どもプラン」が創設された。そこで以下について伺う。
① 「放課後子どもプラン」の概要と市の取り組みについて。
② 児童健全育成事業に関して、現状、児童育成会と学童クラブの二重構造となっているが、規定を含めて整備する考えは。
社会教育部長
① 文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を一体的、あるいは連携して実施する総合的な放課後対策として、平成19年度から実施する事業である。また、市はすでに様々な団体の方々のご協力を頂き放課後や週末に事業を展開しているが（仮称）あきる野市放課後子どもプラン運営委員会を組織して取り組む。

松原 敏雄
議員

放課後子どもプランの取り組みは 運営委員会を組織する

子育て支援・児童担当参事
② 合併前の環境の相違が調整されないまま現在まできているが、今後、条例・規定等を含め、分かりやすく改正するよう検討する。他に、協働のまちづくりについて質問した。



市内の児童館



市民農園

畠中 克賢
議員

援農ボランティアの育成を

システムづくりを行いたい

問 地域農業振興策について以下の質問をする。
① 中山間地直接支払制度の導入及び進捗状況については。

② 農業経営の規模を拡大したいという従事者への支援策は。
③ 農業従事者の高齢化に伴う後継者の育成と、援農

ボランティアの育成についての見解は。

環境経済部長

- ① 小宮及び戸倉地区が指定されており、農地所有者40名が農道の草刈、獣害防止電気柵の管理、都市住民との交流を図るためのユズのもぎ取りを行なっている。
- ② 平成18年9月に経営規模拡大のために低未利用農地の状況を把握した。今後は、農地の貸し借りを安心してできる事業の取り組みを行いたいと考えている。
- ③ 後継者の育成は、東京都等が実施している就農セミナーなどにより、農業技術の習得を行っている。また、援農ボランティアの育成としては、市民農園利用者の技術向上を図り、労働力不足の農家に派遣できるシステムづくりを行いたい。

お知らせ

請願・陳情はお早めに

6月定例会では5月25日までに提出された請願・陳情を審査します。

なお、請願・陳情の内容などをお尋ねする場合がありますので、提出される方は、早めに議会事務局までご持参ください。

議場の雰囲気を目と耳で

傍聴席はみなさんを待っています。
お気軽にどうぞ！
先着順（一般39席・車イス2席・記者5席）

問い合わせ：議会事務局へ
☎（558）1111

6月定例会予定

6月4日（月）	初日	一般質問
5日（火）	2日目	一般質問
6日（水）	3日目	一般質問
12日（火）	4日目	議案審議
13日（水）		総務文教委員会
14日（木）		環境建設委員会
15日（金）		福祉委員会
26日（火）	最終日	委員長報告・追加議案審議

開会時間は午前9時30分
変更となる場合もあります。